

令和2年度 1学期終業式（定時制） 校長式辞

みなさん、おはようございます。

まずは、新型コロナウイルスに関連することの話をします。

現在、愛知県知事から県民に対して「厳重警戒」のお願いがされています。数校の県立高校の生徒が、感染したという情報もあります。

明日から夏休みとなりますが、不要不急（あまり必要でない、あまり急がない）の外出を避け、規則正しい生活習慣を心がけてください。また、毎日体温を測るなどして、健康管理に努めてください。

やむを得ず外出するときは、マスクの着用、手洗いの徹底、3密を避ける行動をとるようにしてください。

さて、話は変わりますが、来年の7月23日に開幕が延期された東京オリンピック、1年前のセレモニーで白血病からの復帰を目指す競泳の池江璃花子選手が、「オリンピックへの思い」を次のようなメッセージで発信しました。その一部を紹介します。

「TOKYO 2020。今日、ここから始まる1年を単なる1年の延期ではなく、「プラス1」と考える。それはとても、未来志向で前向きな考え方だと思いました。

もちろん、世の中がこんな大変な時期に、スポーツの話をすること自体、否定的な声があることもよくわかります。

ただ、一方で思うのは、逆境からはい上がっていく時には、どうしても希望の力が必要だということです。希望が、遠くに輝いているからこそ、どんなにつらくても、前を向いて頑張れる。

私の場合、もう一度プールに戻りたい。その一心で、つらい治療を乗り越えることができました。世界中のアスリートとアスリートから勇気をもらっている全ての人のために。1年後の今日、この場所で希望の炎が、輝いてほしいと思います。」

現在、新型コロナウイルスの感染が、日本だけでなくアメリカやブラジルなど、世界各国で拡大しています。

これから、東京オリンピックの開催が、また、新型コロナウイルスの感染拡大が、どうなるかわかりませんが、私たちは「今を全力で生きる」しかないと考えています。

「その瞬間（とき）、最強であれ！」私の尊敬する人物の言葉です。

「どのような立場になっても、どのようなときでも、どのようなことでも、これだけは自分は絶対に果たすんだという自信と責任をもて！」というメッセージです。

「その瞬間（とき）、最強であれ！」

「I can do it!」「You can do it!」

例年より短い夏休みですが、目標：Goalを掲げて「とりあえず挑戦」してください。

それでは、8月31日に、「こんなことをやったよ！」という報告が聞けることを楽しみにして、1学期の終業式式辞とします。